

未完 Final

2026 年度宝仙学園共学部高校 3 年学年通信

No. 3

2026/4/13

～ 春合宿 ～

4/8～11 までの春合宿、お疲れさまでした。行く前と行った後で、自分の中に何らかの変化や気づきがあったなら、この合宿は成功だったと思います。もちろん、ポジティブな気づきだけでなくかまいません。「この時間帯はどうしても眠くて勉強がはかどらない」とか、「5:30 から勉強を始めると夜まではもたない」とか…。自分に合った勉強スタイルを模索し、少しでもきっかけをつかめたという人がきつとたくさんいるのではないかと思います。

最後の自習時間が終わった後すぐに、この春合宿を振り返る Google フォームに回答してもらいました。「春合宿の自分自身の取り組みを 100 点満点で自己評価してください。」という質問に対する、全員の平均点は 75.6。春合宿全体の満足度は 5 段階で 4.12 という結果でした。自己評価の点数は高ければいいというものでもありませんし、自分に対してあえて厳しい評価を下している人もいましたが、総じて自分自身への満足度が高いことが見て取れました。その 100 点満点の自己評価の次に、「どうすれば 100 点になったと思いますか？」という質問をしてみました。(そもそも自己評価が 100 点満点という人も 15 人ほどいました。)そしてそのみんなからの回答をすべて AI のテキストマイニング(アンケートなどの膨大な文章データを単語単位に分解し、出現頻度などを分析して有益な情報や傾向を可視化する技術)に貼りつけ、どんな反省の言葉がみんなから多く寄せられたのかを調べてみました。一番多かったのは、「エキシビジョン」。全員に設定された自習時間以外の、朝と夜の自主的に勉強できる時間に、もっと参加すればよかった…という反省が多く見られました。これはすごいことだと思いませんか？みんな必修のレギュラーの時間だけでも 10 時間ほどの勉強をしているのに、もっとやれた…という反省がたくさんの人から出るとは。毎日、朝は 20 人ほど、夜は 60 人ほどが自主的に勉強をしていましたが、それ以上の人たちが潜在的に「もっと勉強したい」と思っているという事実は、学年という集団のこれからにきっと生きてくると思います。

そして、次に多かったのが「睡眠」や「寝る」といった言葉。「もっと睡眠時間を確保すべきだった」「割り切って夜は早く寝ればよかった」などなど、睡眠時間をしっかり取らないと、日中にしっかりと集中できないということがわかったのは、非常に大きな気づきだと思います。もちろん、合宿中だけではなく、今日からの授業にも全く同じことが言えます。高校 3 年生生となって、気合が入るあまり、夜遅くまで勉強して日中の授業で意識が朦朧としてしまっは元も子もありません。これまでも何度も、いろんな先生が「しっかりと寝ること」の大事さについておっしゃってきましたが、授業開始にあたり、改めて 1 年間、睡眠時間を十分に確保して、健康な状態をキープしていく意識を持ちましょう。

みんなの振り返りをもう少し紹介しましょう。同じくテキストマイニングを使ってみんなの春合宿全体の感想を分析してみると、最も多かったのは「楽しい」という言葉でした。勉強合宿なのに、という

と語弊がありますが、研修旅行ではなく勉強合宿で「楽しい」という感想が一番多かったというのは、すごいことですよね。これはやはり、学年みんなで勉強できたからこそだと思います。

- 本当に楽しかった。自分自身だけで考えると怖いし不安でいっぱいだけどみんなで頑張ってたことですごく良い環境だったしいい経験すぎました。本当にまだまだやりたい🥹🥹🥹🥹
- 100分間やり続ける難しさと、自分でなにをするのか決める難しさを感じた。モチベーションを高く持ち続けることは友達とやることですごい保たれたなと思った。ふと前を見た時にほとんど立たず、音楽も聞かず、集中し続けている選抜たちがいて改めてすごいと感じたし、背筋が伸びた。自由時間で友達とお菓子食べたり話したりお散歩したりするのがすごく楽しかった。それを目標に頑張れた。直前になっていくのが嫌だなと思ってたけど楽しかったです！

また、「みんなで勉強したからこそがんばれた」という意見も多数寄せられました。

- 自分一人だと10時間も勉強することはできなかったけれど、みんながいて、みんなが勉強している環境に身を置いたことで、自分も集中して勉強することができた。朝起きる時も、夜寝る時も友達と一緒にとても楽しかった。
- 受験は団体戦という言葉だけ聞いても実感が湧かなかったのが、こうやって体験することでだいぶ意味合いが変わってくると感じた。先生方お疲れ様です。
- 今まで勉強を1人でやってる感覚がどうしてもあり、長時間の集中ができないこともあったけれど、今回周りに知ってる人がいて、全員で勉強に向き合っていたため、モチベーションを保ちながら集中することができた。また、合宿で自分で満足できる勉強の向き合い方ができたのですごく満足感の高い行事だった。

そして、この春合宿で自分自身と向き合い、それを今後に生かそうとする意見も。

- 環境が変わるだけでこんなに勉強出来るようになるのかと実感できた。今まで僕がやっていたのは与えられた課題を何も考えずに取り組むだけで、本当に受験に必要なのは自分で考えて何が足りないのか何をやったらいいのか理解し、自分を信じそれをやり続ける根気なのだと思う。一回こういう成功体験をしてしまうと、今までの、僕が大好きな穏やかでその日やりたいことをやり1週間程度の未来のことしか考えない生活が如何に受験勉強に悪影響を及ぼしていたのかわかってしまうと戦慄する。今年度つまり受験本番までの日々、自分がどのような生活を送るのかまだ分からないが、今回の経験を胸に受験生としての1年を送りたい。

最後に、個人的にこの春合宿で一番うれしかったことについて書きたいと思います。勉強時間が始まる時に、こちらがどういうアクションを起こすかというのはとても重要だと思っていて、たとえば「勉強開始3分前からそろそろ席につきましょう！」とか、「早く席に戻りましょう！」とかをいちいち教員が前に立ってマイクでアナウンスするのは、いつまでも子ども扱いをしているというか、美しくないというか…。その絵を想像した時に、自分の中では全くしっくりこず、かといってなんにも言わずに、はたして定刻に全体が静かになって勉強が始められるのか…というのもやや不安で、その時間管理がなあなあになってしまうと、合宿自体の空気がだらけたものになり緊張感がどんどんなくなっていこうし、それだけは避けたいというのもあり、正直非常に悩みました。でも、この2年間みんなの成長を思い返し、ここは学年全体を信頼して、勉強時間の始まりにあたってはこちらからはなんにもアナウンスはせず、みんなの意識に任せることを選びました。初日こそ、自習が始まるたびに、「ちゃんと始められるかな…」とドキドキしていたのですが、2日目以降はもう全然心配なく、何も言わなくても時間が来たらみんなが机に向かい、サーっと静かになっていく雰囲気は圧巻でした。オンとオフの切り替えが学年全体でできるというのは、1人1人が大人である証です。素晴らしいスタートを切れたこの春合宿。今日から始まる授業も、1コマ1コマを大切に、充実した学校生活を送っていきましょうね。